

# 平成28年度事業総括



理事長 川島 紀之

平成28年度は、次の中期5年事業計画に向けての出発の大切な年度です。

今年度は、高齢者を対象にした活動の取り組みに、第一歩を踏みだしました。

12月に「しみんてい うた声サロン」が、理事の尾藤さんの協力により実現できました。毎月第1、第3火曜日の午後2時から始めています。今のところ1階和室が、満杯の状態  
で好調に推移しています。

また、来年度より市役所が犬山市の憲法である「自治基本条例」の制定に向けて動き出すようなので、先手を打って、しみんていは「市民活動交流フォーラム」を利用しようと考え、川北秀人さんをお呼びすることにしました。そのことを川北さんにも十分理解して  
いただいた上で、フォーラムの基調講演をお願いいたしました。

2月4日(土)に手話、要約筆記の方たちの協力も得てフォーラムを開催いたしました。120余名の方々(コミュニティ、自治会、NPOの人たち)の参加を得て盛況に行うことが  
できました。

29年度に市は、市民活動をはじめとする人材ネットワークづくりのための事業を充実  
するようです。しみんていも理事の皆さんのご支援、ご協力を得ながら中間支援機能の充  
実に向けて、ぜひこの事業を取りにいきたいと強く思っています。

ぜひよろしくお願いいたします。

# 〔 I 〕 研修事業

本講座は、行政、企業、市民（NPO）の各セクターを問わず、地域社会の未来をともに手をつなぎながら描いていこうとしている人々に対して、新しい集団づくりに必要な考え方や手法を体験する場を提供し、市民参加のまちづくりに取り組もうとする人材の育成や、ネットワークの拡大を図ることを目的として開催しました。

## 『いぬやま未来塾 ～ファシリテーションの基本から応用～』

- (1) “聞く技術” や “書く技術” などファシリテーションの基本スキルを習得する。
- (2) 長期的な見通しを持ち、物事を俯瞰的に捉える力やバランス感覚を養う。
- (3) 会議などの組織運営や人材育成の現場に参加体験型の場づくりの手法を導入する際に必要な視点と、その成果を確実なものにするポイントを学ぶ。

◆講師 いのうえあきのすけ 井上 淳之典 寺小屋プロジェクト代表

回	とき・ところ	テーマ	内容	人数
第1回	7月17日(日) 13:00-17:00 犬山市福社会館	「聞くこと」は、コミュニケーションの基本	◆インタビューゲーム体験 ◆ブレインストーミング実習 ◆人が集まる場作りの基本を学びます	6名
第2回	7月24日(日) 13:00-17:00 犬山市福社会館	「書くこと」で、議論が手に取るように見える	◆ファシリテーショングラフィック体験 ◆ワークショップサイクル（発散と収束） ◆会議活性化のコツや工夫について学びます	9名
第3回	7月31日(日) 13:00-17:00 犬山市福社会館	「考えること」を考える・・・企画のポイント	◆マーケティングゲーム体験 ◆カード集類法、簡易情報集約法実習 ◆企画を生み出すポイントについて学びます	9名
第4回	8月6日(土) 13:00-17:00 犬山市福社会館	話の中身より「プロセス」に着目！	◆コンセンサス（合意形成）ゲーム体験 ◆コンテンツ（中味）とコンテキスト（背景） ◆合意を促すコツや必要な視点を学びます	9名
第5回	8月21日(日) 10:00-17:00 犬山市福社会館	人と人がつながる、組織や地域社会をファシリテートする	◆安定経済成長時代を想定した新しいタイプの経営ミル・ヨグ・ムを体験しながら、新しい組織や地域ビジョンについて考えます	11名

### 【成果と反省】

今回の講座は、ボランティア活動をされている方や職場でファシリテーション技術を生かしたい方など、様々な方が参加されました。グループワークを中心とした講座内容で参加した方々は、「ワークショップ」や「ファシリテーション」について体験からの気づきが多く得られ、理解を深めることが出来たとの感想を多く頂き、講座期間中に学んだ事を実践した方もみえました。



# 〔Ⅱ〕普及啓発・情報提供事業

「しみてい」の周知、普及のために、犬山市内及び愛知県下の自治体・NPO 向けにペーパーによる広報活動を行うと共に、ホームページの充実、「しみてい」内の掲示板、各種チラシの掲示の充実を図ってきました。

さらに、自治体、地域コミュニティ組織及びNPOへ指導者を派遣したり、各会合へ参加するなどして「しみてい」の普及啓発に努めています。

## 1. ニュースの発行

隔月に発行し、配布先は愛知県下の自治体をはじめ NPO 向けに 1, 000 部配布している。

- ① 発行回数 5回（82号～86号）、臨時号：木曾川源流 夏・冬の交流合宿号
- ② 発行部数 1,000部（毎回）
- ③ 配布先 会員、愛知県下の自治体、主な NPO へ配布。

## 2. ネットワーク運営事業

- ① ホームページの充実
- ② 催事カレンダー（犬山市内の行政・NPO の活動カレンダー）の作成
- ③ 当会所属の団体の活動紹介を順次掲載しています。

## 3. 各種NPOのチラシ掲示及びポスター掲示場所の運営、助成金情報の提供

## 4. 普及啓発活動

### ① 協働事業によるPR

犬山春祭り、秋祭り、焼酎祭り、ビール祭り、ワイン祭り、あったか鍋・地酒祭り、「おひな様まつり」、「愛フェス」、犬山市産業振興祭、集まれ犬山っ子、楽田地区コミュニティ推進協議会、犬山市青少年健全育成市民会議「オアシス運動」、多文化共生シンポジウム、新しく犬山市ボランティア連絡協議会主催の「ボランティアのつどい」など 14 件

### ② 市並びに各種団体への講師及び委員派遣

各種委員会への委員派遣・・・コミュニティ政策学会、大口町NPO促進委員会、市民フォーラム21NPOセンター、ボランタリーネイバーズ、犬山市男女共同参画推進協議会、犬山市男女共同参画市民会議、犬山市青少年問題協議会、犬山社会教育審議会、犬山里山学センター運営協議会、市民展企画委員会、犬山城下町まちづくり協会、古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク、犬山祭り実行委員会、犬山市産業振興祭など 14 件

### ③ 各種会合への参加

犬山市交礼会、犬山まつり実行委員会、城下町まちづくり協会4件、あんきにくらそう会総会、犬山武将隊会合、市民フォーラム21総会及び理事会、楽田地区コミュニティ推進協会総会、城東小学校区コミュニティ推進協議会総会、楽田小、愛フェス実行委員会、城下町おひなさま祭り実行委員会など 20 件

# 〔Ⅲ〕 相談・助言事業

## 1. 概要

「しみんてい」の運営及び「犬山しみんていの会」の事業実施に伴うコーディネート。各種団体・グループさらには個人への相談・アドバイスを丁寧に実施しています。

## 2. 具体的な活動

### (ア) コーディネイト

人材育成事業、人材交流・ネットワーク促進事業を通じ、また各種相談の中から、コーディネートが必要なものについては積極的に対応しています。

「子ども大学」「木曾川源流夏・冬の交流合宿」「“森と遊ぼう”東北っ子と犬山っ子自然交流事業」も大きなものです。

### (イ) 相談に関する業務

#### ① 市民活動相談

- ★ NPO法人に関すること：11件
- ★ 活動に関すること：31件
- ★ 市町職員への相談・アドバイス：10件

#### ② ボランティアにかかわる相談・・・12件

#### ③ 施設利用に関する相談・・・・・・・・62件

#### ④ 各市町村職員、市民活動団体の視察及受け入れ

多治見市民活動センター、扶桑北中学校、愛知淑徳大学、シーズ・市民活動を支える制度をつくる会、東近江市など5件

### (ウ) 犬山市民活動支援に関する条例に関わる相談・アドバイス

- ① 助成金に関するもの・・・10件
- ② 登録に関するもの・・・・・・・・6件

# 〔IV〕 人材交流・ネットワーク事業

「AJOSC」全日本社会貢献団体機構助成事業

## 1. 東日本被災者親子と犬山の子どもの自然交流事業

秋の「東日本大震災で愛知県に避難してきている親子と犬山の子どもの交流」を目指して実行委員会で事業の内容を決め実施しました。

◆**実行委員会** 6回（6月～11月）開催し、内容の基本方針、活動の材料等準備を進めて実施しました。

◆**“森と遊ぼう” 東北っ子と犬山の子ども自然交流**

\*と き 10月22日（土）午前9時～10月23日（日）午後2時

\*と ころ 犬山市野外活動センター一帯

\*対象者 避難者親子15人（大人7人）、犬山の子供37人（保護者等4人）、ボランティア40人



\*活動内容

<一日目> 10月22日

第1部 体験コーナー 午前10時30分～午後3時

☆アドベンチャー“スパイダーマンワールド” ☆頂上決戦 ガサガサ王はだれだ？

☆木の実のパンケーキやさん ☆土と遊ぼう！ ☆木登り・青竹すいはん

☆ふるさとダイニングと防災カフェ

★昼食・休憩

第2部 シェルターづくりや夕食づくり 火を囲んで・・・

<二日目> 10月23日

第3部 熱気球搭乗 午前7時～8時30分

第4部 防災教室 午前9時30分～11時

「トランシーバー交信体験」「紙の食器づくり」

「消火器での的あて」「ハッピー交流ゲーム」

★昼食

★テントのかたづけ

★解散 午後1時



\*連携団体

NPO法人シェイクハンズ、グリーンマップ犬山、有機米つくろう会

ひとつばたごの会、おかげさま、郷瀬川清流会、犬山市レクリエーション指導者クラブ、

ワークショップこころ、犬山よりみち探偵団、桃山広房

## 2. 市民活動交流フォーラム みんなで考える 犬山の未来 ～支えあう地域をつくろう！～

平成29年2月4日（土）フロイデにおいて、  
 上記テーマで犬山市と共催で開催しました。

### 第1部「基調講演」

講師：川北秀人 | IHOE

（人と組織と地球のための国際研究所）代表  
 「自治を回復し、まち・むらの課題を、  
 まち・むらの力で解決するために  
 ～総働と小規模多機能自治のすすめ～」



### 第2部「市民活動団体紹介」17団体



### 第3部「グループ交流会」 ～なんでも話そう まちを元気にするために！！・・・～ 参加者同士がグループになり、自己紹介し、「まちを元気にするために」意見を交換。

29年度より犬山市は、犬山市の憲法、即ち「自治基本条例」を作ろうと動き出します。その先を読んで、川北氏にはその話をお伝えし、講演をお願いいたしました。当日の講演は非常に示唆に富む内容でした。

氏は、自治会・町内会は住民減少、高齢化などに伴い必要性が高まる安全・安心の確保をまず第1に考え、行事を半減して、事業＝福祉＋経済！を行うべきだと強調されていました。

全体の印象では、ある参加者の「みんなと話すことができ嬉しかった」という発言を聞き、第3部の「グループ交流会」の意義が確認できて、こちらも嬉しくなりました。

### 3. 木曾川源流・夏の交流合宿

～風のおっばら、水の馬瀬…山村で 心が躍る、感動体験をしよう！～

と き：8月18日(木)～20日(土)  
 ところ：おっばら、馬瀬

参加者：子ども19名、  
 スタッフ：10名 計29名

#### 8月18日(木) 1日目

- ☆班旗づくり
- ☆森林散策・クラフト作り
- ☆ランタン作り・ナイトハイク

○おっばら自然体験センター宿泊

#### 8月19日(金) 2日目

- ☆馬瀬組＝沢登り、森の忍者
- ☆おっばら＝魚つかみ・調理・焼く、筏川下り

○バーベキュー交流会(夜)  
 ○おっばら自然体験センター宿泊

#### 8月20日(土) 3日目

- ☆砂金・水晶採り

班旗づくりで、ほぼお互いを知ることができる。散策で集めた材料でクラフト作り、その後ランタンを作りナイトハイク。

初日はみんなおっばらです。

二日目に馬瀬班とおっばら班に分かれます。馬瀬では、冷たい沢を滝壺までのぼり、そこがまた楽しみの中でもあります。

午後は、樹上5メートルの所にあるロープ、木、ブランコなどを渡ります。スリル満点。

最後の日は、川で砂金・水晶採りです。砂金が採れたのは4人ぐらいでした。水晶は結構取れます。

今回から二泊ともおっばらで泊ります。少しゆとりができ、また、荷物を移動しなくてもよいのがありがたかったです。



独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成事業

## 4. 木曽川源流・冬の交流合宿

～白銀の世界の中で  
思いっきり遊びまわり、  
感動体験をしよう！～

今年は、雪があるか心配でした。行ったその日の雪はゼロ。しかし、二日目にしっかり降りました。ヤッター！！です。

とき：平成29年1月7日（土）～9日（月・祝）  
ところ：高山市清見おっばら「おっばら自然体験センター」

- 1日目 1月7日（土）
- ☆班旗づくり
  - ☆山登り
  - ☆夕食づくりのお手伝い
  - ☆交流会（仲間づくりゲーム）



- 2日目 1月8日（日）
- ☆森林散策（材料探し）
    - ・クラフト作り
  - ☆丸太切り
  - ☆ランタンづくり
    - ・ナイトハイク
  - ☆交流会



- 3日目 1月9日（祝・月）
- ☆雪あそび

- ★子ども24名、
- スタッフ9名、
- 愛知淑徳大学小島ゼミ生5人
- 計38名

今年度で6回目です。  
最近では雪が極端に降らなくなったのでしょうか？

二日目に15センチほど雪が降って、三日目には雪あそびが十分できました。子どもたちも大喜びでした。



## 5. 犬山子ども大学自主事業

この事業は、子ども達を一回り大きく成長させ、子ども達の自主性を育てて、主体的に活動に取り組むきっかけを作ってくれます。(理事長 川島紀之)

### 「AJOSC」全日本社会貢献団体機構助成事業

#### (1) 生き物探検隊クライマックス 16人参加

この講座は、パートⅠ、パートⅡからのレベルアップ講座であり、主に犬山市内の自然を学習した上で、犬山にはない自然体験・学習を目的にしたものです。バスを使い、海山川と様々な環境に出かけることで、犬山との自然の比較を行います。

『この教室に参加した子ども達は、知らない間に生き物を守る事を学んでいます。どの生き物がどんな所にいて、何を食べて、どういう風に繁殖して、死んで・・・いろんなことを、体験を通して知ったからです。知っていれば守ることができる。簡単なことです。そう、私達が捕まえてきたのは「僕らの地球の未来」なのです！！』(宮田指導者の言葉)



#### (2) 冒険教室 ～上級コース～ 20人参加

上級コースをスタートしてから初めて、途中から参加しなくなった人が出ました。本当の理由はわかりませんが、内容が小学生には厳しくなりすぎたのかもしれませんが、この現実を真摯に受け止めたいと思います。甘やかすばかりでいけません、それでも冒険を通じて苦労しながら成功体験を積み重ねることは子どもにとって、とても有意義なものだと思うのです。

(古澤指導者の言葉)



### (特) 犬山しみんていの会自主事業

#### (1) 犬山原始人クラブ 18人参加

ものづくりが多く、ノコギリ、ナイフ、電動工具などを使いこなす匠になった。

夏の洞戸の「高林工房・もりのがっこう」での活動では、川泳ぎは本当に楽しそうで、大岩から飛び込む姿は逞しかった。

中山道「馬籠宿」から「妻籠宿」を自作のわらじを履いて歩いたが、子ども達は元気で逞しい。一番の人気の教室である。

保護者の方が、とても協力的で、水泳監視や活動補助をしていただいた。

(高林指導者の言葉)



## 6. 犬山「子ども大学」

28年度は、20講座453人の参加です。28年度は参加者が非常に増加しました。27年度までは、受講者が減り気味ですが、これは児童・生徒数自体が減少していることと関係があると考えます。内訳は、犬山市委託事業17講座、犬山しみんていの会自主事業3講座です。

(27年度20講座415人、26年度20講座420人、25年度20講座421人、24年度22講座431名、23年度21講座453名、22年度は22講座473名、21年度21講座408名、20年度22講座436名、19年度17講座362名、18年度18講座363名、17年度15講座287名、16年度13講座196名)

28年度の特色は、「生き物探検隊クライマックス」が活動時間7時間を4回。犬山以外の場所に出かけることによって、犬山との比較もでき、多くの生き物とも出会い、沢山の宝物を得ることができ、自然に対する優しさが芽生えてきたと思っています。

「冒険教室～上級編～」は1日7時間の活動が4回、一泊二日（午前9時から翌日午後4時）が3回です。子ども達は指導者が想像するより高い能力を発揮してくれています。

更に、「犬山原始人クラブ」は、犬山を出ての活動が多く、原始人になりきった物作りに集中していました。中でも中山道を自作のわらじで歩く回がとても人気があるようです。

これらの活動は、通常の子ども大学よりはるかに多くの時間活動しています。この活動に関わった子ども達は、一回り大きくなり、自分自身に自信を持たたと述べています。指導者は、子ども達が活動を通じて逞しくなったのが手に取るようにわかったと述べています。

多くの子どもたちがこの事業に挑戦してほしいと思います。

※ 具体的な活動内容は、別冊参照。

### 平成 28 年度 犬山「子ども大学」 講座一覧

#### <犬山市委託事業>

① 国際理解 世界をめぐる子ども達	32人
② 日本文化にふれよう！ “お茶・お花”	19人
③ 生き物探検隊 パートⅠ	28人
④ 生き物探検隊 パートⅡ	19人
⑤ サイエンス 電子工作	20人
⑥ 君も エジソンになれる！	31人
⑦ はじめての 楽しい陶芸	23人
⑧ 囲碁・将棋たいけん教室	29人
⑨ 伊勢型紙 “やさしい 型紙づくり と 型ぞめ”	14人
⑩ 楽しく絵をかこう	26人
⑪ やさしい 絵画教室	25人
⑫ 和太鼓を たのしく たたこう	15人
⑬ 押し花で ものづくり	22人
⑭ 楽しもう！！レクスポーツ	34人
⑮ 冒険教室 基礎コース	17人
⑯ 子どもの自然教室 午前の部	23人
⑰ 子どもの自然教室 午後の部	22人

#### <犬山しみんていの会自主事業>

① 犬山原始人クラブ	18人
------------	-----

#### <「AJOSC」全日本社会貢献団体機構助成事業>

① 生き物探検隊 クライマックス	16人
② 冒険教室 上級コース	20人

計 453 人

## 7. 託児事業（事業で託児をしてほしい方どうぞ！！）

### 託児をしてほしいグループ・団体、行政の方 どうぞ利用してください！！

託児をする人が極めて少ない状況の中、思い切って「しみんてい」では小さな子どもさんを預かる「託児事業」を始めております。

子どもを預けることによって勉強したり、主催者の事業に参加出来たりと、あなたの成長のため、あなたの社会参加に協力できたらと考えました。  
どうぞ！！託児を利用してください！！

平成 28 年度の活動実績

- 1 定例会 9回 メンバー36人
- 2 託児活動 男女共同参画「カラーセラピー講習」 預かった子ども7人、会員5人
- 3 多文化共生子育て日本語教室 14回 預かった子ども29人、会員35人

27年度は、託児を受けた回数は19回、預かった子ども39人、26年度14回30名、25年度20回42名です。



## 8. 甲冑利用・管理事業

平成18年度から22年度までの5ヶ年計画で、名古屋市在住の甲冑師小川伸道先生に甲冑師を養成してもらい、その間養成を受けている人たちが「犬山甲冑制作同好会」を創設しました。平成23年度からは、甲冑の利用管理を「犬山甲冑制作同好会」にお願いしています。

「甲冑工房」は7月まで借用し、同会に管理運営を行ってもらっていました。

平成27年11月から、昭和横丁の2階に「甲冑工房」を借用し、甲冑制作同好会と甲冑クラブ凛と共同で「犬山武将隊」として運営管理を行ってもらっています。

平成29年3月末日をもって昭和横丁の2階の部屋の借用はやめることになりました。

平成28年度の甲冑の試着数は、259人（大人77人、子ども182人）168千円。

過去の試着数は、平成27年度314人（大人88人、子ども226人）201千円、平成26年度220人（大人66人、子ども154人）143千円、平成25年度221人、平成24年度は240人、平成23年度255人です。



## 9. まちの駅運営事業

発足当時から【まちの駅】の運営を行っています。ここ数年、第1・第3日曜日には、専任の担当者高木茂子さんが、抹茶、コーヒーをお出ししていました。抹茶・コーヒーの提供は高木茂子さんの辞退によりしばらく休止します。

朝市として、別府良助さんが野菜の販売を行い、他の人も時々利用しています。



## 10. しみんてい広房

### I 城下町での協働事業

#### (1) 春の犬山お城まつり

4月2日(土)～3日(日) 3,000人

今年も多くの会員関係者に出店していただき盛況を極めました。  
ボランティアで参加していただいた関係者には厚く感謝いたします。



## (2) 犬山城下町日南焼酎まつり

6月4日(土)～5日(日) 入場者 700人



## (3) 犬山城下町ビールまつり

9月10日(土)～11日(日) 入場者 1,000人



#### (4) 犬山城下町ワインまつり

11月12日(土)～13日(日) 入場者 2,000人



#### (5) 犬山城下町あったか鍋と地酒まつり

3月11日(土)～12日(日) 入場者 1,500人



## (6) 犬山城下町おひなさまめぐり

2月10日(金)～3月10日(金)

犬山北のまちづくり推進協議会が提唱し、城下町をお雛様で埋めようと活動を開始したので、それに参画協力しています。



## (7) もちつき交流会

日時：12月23日(祝) 10:00～13:00

場所：犬山しみんていの会

普段お世話になっている町内の人たちや、しみんていの会・会員に感謝の気持ちを込めて開催しました。



## Ⅱ 他の協働事業

### (1) 愛フェス2016

9月17日(土)～18日(日) 入場者 200人

ファンドレイジングと東北支援をしている催事に参画。クラフト作りでは、子ども向けの「くるくるレインボー」「紙竹とんぼ」で好評を得ました。



### (2) 犬山市産業振興祭

10月11日(土)～12日(日) 2,000人

この事業には、犬山しみんていの会のPRのため、子ども向けのクラフト作りを持って参加した。クラフトは、「くるくるレインボー」「紙竹とんぼ」を出展。(特)シェイクハンズは、フェアトレード商品の販売を通じて参加した。



### Ⅲ 広 房

#### (1) しみんてい うた声サロン

1回目＝12月6日（火）午後2時～3時  
毎月第1、第3火曜日の午後2時より行っています。

12月6日14人、20日8人、1月17日16人、2月7日20人、21日23人、  
3月7日21人、21日14人



# 〔V〕 調査研究・政策提言事業

## 1. 政策提言

平成28年10月27日（金）、NPOに関わる平成28年度の提案書を犬山市長と犬山市教育委員会へ提出した。

提言書抜粋

- （1）しみていの炊事場の改修について ⇒ 炊事場が使用可能の間は、現状のままで使用とのこと。
- （2）コミュニティ活動の一層の充実のために「活動拠点を」 ⇒ 検討している。
- （3）自治体の憲法の制定「自治基本条例の制定」について ⇒ 昨年度策定した「いいね！犬山総合戦略」に位置づけられており、犬山市に合った条例のあり方を市民の意向を聞きながら検討してゆく。
- （4）多文化共生時代への対応について ⇒ 29年度も「多文化共生推進事業」を予算化し、事業を実施していく。
- （5）人件費について ⇒ 見直しを行ってゆく。
- （6）市の委託事業化の推進について
- （7）甲冑工房の運営管理について ⇒ 助成事業は見直す。
- （8）犬山子ども大学について ⇒ 国・県の補助金を活用して継続する。17事業の増額の予定はなし。
- （9）犬山市役所でのNPO活動に対する理解促進及び啓発事業 ⇒ 検討していく。
  - ① NPO関係庁内連絡会議の開催
  - ② NPOに関する職員研修の実施について

## 2. 政策NPO学会

政策NPO学会総会（7月2～3日、千葉県）に参加できませんでした。

# 〔VI〕 施設運営・整備事業

## 1. 施設利用状況

2016年度  
市民活動支援センター利用者調べ

年/月	来館者数	団体利用		個人利用者数	
		団体数	利用者数	コピー	印刷
” 16/04	2,815	24	316	13	7
5	895	23	174	19	13
6	1,141	24	283	7	10
7	301	24	354	9	3
8	368	15	211	5	7
9	843	18	157	18	8
10	402	18	592	8	7
11	1,719	21	255	14	9
12	359	22	462	7	4
” 17/01	688	20	288	14	6
2	538	20	225	7	4
3	1,254	28	233	15	10
合計	11,323	257	3,550	136	88

総利用者数	15,097 人
総利用団体	257 団体

## 2. 前年度までの利用者・団体数の推移

年 度	総利用者数	総利用団体
2015	15,796	304
2014	17,804	319
2013	10,888	255
2012	10,661	270
2011	18,406	275
2010	16,849	351
2009	14,396	374
2008	14,165	445

# 〔VII〕 会議開催状況

犬山しみんていの会は、定例的に理事会と運営委員会を交互に開催しています。  
大きなイベントは、実行委員会を結成して、毎月事業実施まで会合を持っています。

## 1. 定例会議

名称	回	日時	主な議題
理事会	第1回	7月12日(火)	* レッツ城下町・レッツアフリカン!わくわく子ども探検隊など
	第2回	9月6日(火)	* “森と遊ぼう”東北っ子と犬山っ子の自然交流など
	第3回	11月8日(火)	* 餅つき大会・忘年会など
	第4回	1月10日(火)	* フォーラム、活動成果発表会など
	第5回	3月7日(火)	* あったか鍋と地酒まつりなど
	第6回	4月25日(火)	* 総会資料について
運営委員会	第1回	6月7日(火)	* レッツ城下町・レッツアフリカン!わくわく子ども探検隊、森遊ぼう実行委員会立ち上げ
	第2回	8月2日(火)	* 夏の交流合宿、愛フェス参加等
	第3回	10月11日(火)	* ワインまつり等
	第4回	12月6日(火)	* 餅つき大会・忘年会、フォーラム等
	第5回	2月14日(火)	* あったか鍋と地酒まつり等
実行委員会	第1回	6月7日(火)	* 東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第2回	7月12日(火)	* 東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第3回	8月2日(火)	* 東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第4回	9月6日(火)	* 東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第5回	10月11日(火)	* 東日本被災者親子と犬山の子供交流
	第1回	11月8日(火)	* 市民活動交流フォーラム
	第2回	12月6日(火)	* 市民活動交流フォーラム
	第3回	1月10日(火)	* 市民活動交流フォーラム
	総会		5月15日(日)午前10時30分～ 終了後昼食交流会

※理事会は、理事に限定。

※理事会と運営委員会は毎月1回交互に実施。(第2火曜日)

## 2. その他の会議

- (1) 事務局会議、月に1回開催。
- (2) 出展者打合せ会は随時開催

# 〔VIII〕 報道関係ニュース

中 日 新 聞

2016年(平成28年)6月1日(水曜日)

近 郊 16 +

## 近郊版

「子ども大学」

先生自己紹介

犬山で開校式

小中学生が体験講座を通じて自然や芸術などについて学ぶ「犬山市子ども大学」の本年度開校式が五月二十九日、羽黒の犬山市民文化会館であり、児童生徒と保護者ら九百人が出席した。

子ども大学は二〇〇二年に市教委などの事業として始まり、〇四年から地元のNPO法人犬山市民活動支援センターの会(犬山しみんていの会)が受託し

ている。

同会の川島紀之理事長は「積み重ねた体験

は子どもたちの宝物になる」とあいさつした。

続いて講師の紹介、講座別の説明会があった。

今年は日本の伝統文化や電子工作など二十

講座で募集し、四百五十二人が応募した。各講座は来年一月末ごろまでに十回開かれ、二月には成果発表会がある。



自己紹介をする各講座の講師たち＝犬山市羽黒の犬山市民文化会館で

尾北ホームニュース

【3】平成28年6月3日（金曜日）



# 人口密度より「交」密度

## 犬山市民活動支援センター15周年

NPO法人犬山市民活動支援センターの会（川島紀之理事長）が創立15周年を迎え、5月15日に記念講演会を犬山国際観光センターで開催しました。写真

講師は、IHOE（人と組織と地球のための国際研究所）代表の川北秀人さん。「自治を回復し、まち・むらの課題をまち・むらの力で解決するために」をテーマに、NP

Oやボランティア、地域コミュニティ、自治会関係者、行政職員など市内外から約100人が参加しました。

NP O法人の現在数、意義、機能などをクイズ形式で軽快に説明し、「NPOは1歩先の視野、半歩先のプログラム。中間支援は2歩先の視野、1歩先のプログラム」と話す川北さん。

内各地域の人口構成分布などを提示し「まちの力は人口密度より、関係の密度がつくる「交」密度。住み続ける地域の未来のために、本当に大切なことを」と強調しました。

また、山口県雲南市等の事例を挙げ、「地縁団体は行事型からニーズを見据えた事業型に」「行政は協働から総働への仕掛け」などと呼び掛けると、会場から熱い拍手

が。参加者は「犬山の実態と今後は、データを基にとても分かりやすい説明だった」「自治会長は地域の経営者」とは、目からウロコの発想」など、感想を寄せていました。

広報

# いぬやま

人が輝き 地域と生きる “わ”のまち 犬山

2016  
6 / 1  
Jun.  
No.1235



**■レッツ城下町、レッツアフリカン〜わくわく子ども体験隊〜**  
アフリカ、シンパフェから、お友達がやってきます。コンサートに参加したり、アフリカの遊びや日本の遊びを一緒にしたり、いろんな手作り体験もしながら、城下町をまるごと楽しみ、新しい発見もしましょう！スタンプラリーやクイズもあり、くじ引きで賞品もゲットできますー

▼とき 6月18日(土)午前10時30分〜午後3時30分 ▼ところ 犬山城下町一帯 ▼内容 ☆体験コース ①しみんてい(パルーンアート) ②伊勢型紙京彩会(染め体験) ③ガラス工房沙羅(ガラス彫刻) ④どんでん館ひろば(シンパフェ民族コンサート) ⑤どんでん館ひろば(昭和のあそび) ⑥堀部邸(古墳消しゴム作り)

※逆回りもあります  
▼対象 小学1年〜6年生(体験コース③は、小学4年以上のみの体験) 200人まで。▼参加料 5000円(保険・体験材料) ▼持ち物 昼食持参(保護者同伴なら、飲食店でも可)

▼申込み 犬山しみんていの会 (☎61・7710 FAX 61・8108 Eメール center@inuyama-shimin.tel.com)へ  
☆申し込みに関する詳細は、公共施設などに設置するちらしを参照してください。

中 日 新 展

2016年(平成28年)8月2日(火曜日) 第 20 期

### 家族に緊張のお点前 犬山で小学生が茶会



お茶を味わった児童たち。犬山市松本町の犬山国際観光センターで

犬山子ども大学の講座「日本文化にふれよう！お茶・お花」を受講している小学生十八人が七月二十日、犬山市松本町の犬山国際観光センターで茶会に臨んだ。講座は市文化協会茶華道部の顧問悠さんらを講師に六月から開かれている。全十回のうち茶の講座は五回で、この日が最終回。

児童たちは三つの班に分かれ、和室で招待した家族や友達にお点前を披露したり、国宝茶室如庵を模した茶室で和菓子と茶を味わった。

「日本文化が好き」という犬山市大山西小三年の山添結愛さん(八)は「家族にお茶を出すのは緊張する」と言いながらも、笑顔で楽しんでた。

(田中富隆)

2016年(平成28年)8月14日(日曜)

# 国やルーツ超えキャンプ



慣れない手つきでの「割り」を扱う児童。犬山市外屋敷の幸田ふれあいセンターで

## 犬山で近隣児童が交流

外国にルーツのあるの幸田ふれあいセンター「学」のオープンキャンパスを含む犬山市と近隣市町の小学生が集う「ワールドキャンプ」が始まり、六十人が交流を深めた。

「犬山市子ども大」で、犬山しまんていの

会が主催している。初日は地域の大人らに物作りを学ぶワークショップ(体験講座)、料理作りによる交流会などを実施。児童たちは「おながが減ってきた」などと言いながら、楽しそうにペルーのポテトサラタや中国の水ギョーザなどを作った。

十四日は世界中の本を読み聞かせる「絵本の広場」、水掛け祭りなどを予定している。絵本の広場は午前十時から午後五時まで、一般にも無料開放する。(田中富隆)

### 尾北ホームニュース

#### 【3】平成28年9月30日(金曜日)

#### 交流会開催

犬山しまんていの会は10月22日(土)10:00〜23日(日)14:00、犬山市野外活動センター「栗栖」で、東日本大震災避難者親子とのことも自然交流事業「森と遊ぼう」東北つ子と犬山つ子の自然交流を開催します。

参加対象は小学2〜6年生(2年生は保護者同伴)、定員50人。参加費は1人3000円(同伴の保護者も要参加費)。

22日は、青竹でごはん炊き、土をこねて器作り、木登りや木の実のパンケーキ作り、魚取り、ふるさと料理作りと防災カフェの6つのプログラムから1つを選択して体験。その後、テントの組み立てや夕食作り。23日は、熱気球授業や防災教室、交流ゲームなど。

申し込みは電話、FAX、Eメールで、10月16日(日)締め切り。お問い合わせ05687710 FAX同05108 Eメール Center@nuyama-shimintei.com

広報 いぬやま  
平成29年2月1日号

■しみんてい  
「歌声サロン」  
笑って♪歌って♪楽しく♪  
元気に♪  
なつかしい歌謡曲などをみ  
んなで歌いましょう。

▼とき 毎月第1・3㊦午後  
2時～3時 ▼ところ 犬山  
しみんてい(福祉会館東隣り)  
▼演奏者 尾藤定(犬山市レ  
クリエーション指導者クラブ  
代表) ▼参加料 300円  
(コーヒー茶菓子付き)

▼問合せ先 犬山しみんてい  
の会 (☎61・7710 FA  
X61・8108 メールcen  
ter@inuyama-shimintei.  
com)

中 日 新 聞

2017年(平成29年)2月8日(水曜日)

近 郊 12 +

近郊版



▲ 元気に和太鼓を演奏する子どもたち  
 ちー大山市羽黒の市民文化会館で

二〇一六年度「大山市子ども大学」の活動成果発表会が五日、同市羽黒の市民文化会館であり、各講座を受講した児童生徒と講師ら二百人が参加した。子ども大学は〇二年度に市教委などが始め、〇四年度からNPO法人大山市民活動支援センターの会(犬山しみんていの会)が受託している。

**中山道、和太鼓 体験の成果**  
 犬山で小中学生が発表会

発表会では、参加者がステージや展示で成果を発表。犬山しみんていの会の川島紀之理事長は「参加した人には、物事を前向きに、自主的にやる気持ちが増ええてきたはず。やってよかったと思える時代が必ず来る」とあいさつした。

「犬山原始人クラブ」の受講生は「わらじで中山道を歩き、昔の人の苦労が分かった」などと感想を述べた。「和太鼓をたのしくたたく」の受講生は元気に課題曲を披露した。(田中富隆)

# HOME NEWS

# 尾北ホームニュース

http://www.homenews.jp/ 配布区域(江南市、犬山市、扶桑町、大口町、一宮市の一部)

平成29年(2017年)

## 2月17日(金)

第1822号

毎週金曜日発行



## みんなで考える犬山の未来

### 行政、市民団体、町内会など120人参加

犬山市と柳犬山市民活動支援センターの会が主催した市民活動交流フォーラム2016が4日、犬山国際観光センターで開催されました。

「みんなで考える犬山の未来」支えあう地域をつくらう」のテーマの下、NPOやコミュニティ組織、町内会などから約120人が参加。基調講演に聴き入り、意見交換、団体活動アピールも行われました。

基調講演は、I・H・O E(人と組織と地球のための国際研究所)代表の川北秀人さん。写真「自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するため」と題し、多様な人や組織が連携して事業型での地域運営を目指す「総働と小規模多機能自治のすすめ」を、強くアピールしました。

川北さんは同市の将来の人口と地域別年代推移のデータを示し、「自分たちがやりたいことではなく必要なことをやる」「まちの力は関係の密度がつくる」「人交密度」で決まる。「イベントからサービス型への事業型の町内・自治会」などと語り、高根県雲南市や北海道浦幌町の活動を紹介。行政には「総働をどう促すか」と強調しました。

「目からウロコの話ばかりで町会長としても非常に参考になりました」と、町会長連合会会長の

大井雅雄さん。ワークショップ「なんでも話そう」まちを元気にするために」では参加者がグループに分かれ、基調講演での感想や気付きを共有し、自分たちができる事などを意見交換。活動アピールブースでは17団体が活動を紹介し、連携の意識を高めました。

「行政、市民団体、NPO、町内会、コミュニティ組織など、立場が違っても人たちが1つになってそれぞれの立場から、また立場を超えてまちの未来を構築できた貴重な1日でした」と、同支援センターの会の川島紀之理事長は話していました。

# 〔IX〕 平成28年度決算報告

## 平成 28 年度収支計算書

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

2017/3/31 現在 (単位: 円)

### I. 経常収入の部

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1 会 費				
① 正 会 員	240,000	189,000	△ 51,000	1 口 3,000 円×63 口 (個人 40 口、団体 23 口)
② 賛 助 会 員	180,000	51,000	△ 129,000	個人 7、団体 10
③ 情 報 会 員	30,000	0	△ 30,000	1 口 3,000 円
小 計	<b>450,000</b>	<b>240,000</b>	<b>△ 210,000</b>	
2 委 託 料				
①施設運営事業	2,622,120	2,622,120	0	施設管理、消耗品
②コーディネイト事業	2,675,000	2,674,202	△ 798	各種相談・支援
③NPO 協働推進事業	1,229,000	1,228,135	△ 865	フォーラム、行政との協働実践事業
④子ども大学委託事業	6,349,000	6,339,600	△ 9,400	国際理解等 17 講座
小 計	<b>12,875,120</b>	<b>12,864,057</b>	<b>△ 11,063</b>	
3 助 成 金				
①犬山市観光協会	300,000	300,000	0	甲冑類管理・利用
②全日本貢献助成	1,100,000	1,100,000	0	森と遊ぼう、生き物クライマックス、 冒険教室上級
③子どもゆめ基金	150,000	126,000	△ 24,000	木曾川源流 冬の交流合宿
小 計	<b>1,550,000</b>	<b>1,526,000</b>	<b>△ 24,000</b>	
4 参 加 費(事業収入)				
①広房事業	100,000	270,070	170,070	まちの駅、うた声サロン、他
②人材育成事業	10,000	70,720	60,720	犬山未来塾、託児講座
③子ども大学	455,000	492,000	37,000	生き物クライマックス、冒険上級、 原始人クラブ
④ネットワーク事業	1,800,000	1,164,400	△ 635,600	夏冬交流合宿、フォーラム、 森と遊ぼう
⑤城下町協働事業	0	362,890	362,890	ワイン祭、焼酎祭、 鍋地酒祭、ビール祭、他
小 計	<b>2,365,000</b>	<b>2,360,080</b>	<b>△ 4,920</b>	
5 使 用 料				
①使用料	350,000	207,874	△ 142,126	印刷、コピー、横断幕、他
小 計	<b>350,000</b>	<b>207,874</b>	<b>△ 142,126</b>	
6 寄 付 金				
①寄付金	100,000	1,432,495	1,332,495	団体、個人、他
小 計	<b>100,000</b>	<b>1,432,495</b>	<b>1,332,495</b>	
7 その他				
①雑収入	10,000	4,900	△ 5,100	暖房代、切手代、他
②受取利息	0	121	121	
小 計	<b>10,000</b>	<b>5,021</b>	<b>△ 4,979</b>	
<b>経常収入合計</b>	<b>18,700,120</b>	<b>18,635,527</b>	<b>△ 64,593</b>	
8 前年度繰越金	<b>1,000,000</b>	<b>1,437,355</b>	<b>437,355</b>	

## II. 経常支出の部

## [1] 事業費

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1 研修事業				
①NPOリーダ育成研修	200,000	164,673	35,327	
小 計	<b>200,000</b>	<b>164,673</b>	<b>35,327</b>	
2 普及啓発・情報提供				
①ニュースの発行	60,000	106,752	△ 46,752	郵送費、用紙代、インク代
②ネットワーク運営	556,000	675,367	△ 119,367	人件費、法定福利費、ホームページの更新
小 計	<b>616,000</b>	<b>782,119</b>	<b>△ 166,119</b>	
3 相談・助言事業				
①コーディネート 助言・相談	2,675,000	2,676,770	△ 1,770	人件費、法定福利費、NPO 相談・助言 市助成金支援、協働コーディネート等
小 計	<b>2,675,000</b>	<b>2,676,770</b>	<b>△ 1,770</b>	
4 人材交流ネットワーク				
①市民活動交流フォーラム	342,000	586,761	△ 244,761	人件費、謝礼、消耗品、他
②NPO 行政協働実践事業	211,000	212,138	△ 1,138	人件費、法定福利費、消耗品、他
③しみんてい広房事業	213,000	708,005	△ 495,005	城下町、広房、他
④まちの駅運営事業	70,000	128,903	△ 58,903	謝礼、消耗品
⑤甲冑管理・利用事業	540,000	495,000	45,000	借料、保管料、他
⑥子ども大学事業	6,349,000	6,339,600	9,400	人件費、謝礼、教材、他
⑦多文化共生推進事業	20,000	0	20,000	
⑧夏・冬の交流合宿	1,450,000	1,219,030	230,970	謝礼、賃借料、消耗品、他
⑨託児者養成	40,000	16,928	23,072	謝礼、消耗品
⑩子ども大学(自主)	548,000	0	548,000	
⑪被災者支援交流事業	1,700,000	1,623,281	76,719	森と遊ぼう、生き物クライマックス、冒険教室上級
小 計	<b>11,483,000</b>	<b>11,329,646</b>	<b>153,354</b>	
5 調査研究・政策提言事業				
①研 修	50,000	0	50,000	
②政策提言	3,000	0	3,000	
③研究・情報収集	60,000	59,762	238	諸会費、図書費、他
④まちづくり研究集会	40,000	0	40,000	
小 計	<b>153,000</b>	<b>59,762</b>	<b>93,238</b>	
<b>事業費合計</b>	<b>15,127,000</b>	<b>15,012,970</b>	<b>114,030</b>	

## [2] 管理費

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1 管理運営	3,288,000			
①人件費		2,432,120		管理人件費
②旅費交通費		104,580		交通費
③郵 送 費		22,257		各種案内、連絡 郵送代
④通 信 費		60,504		中部ケーブル
⑤消耗品費		416,456		印刷用紙、インク、事務用品、他
⑥水道光熱費		44,827		ガス代
⑦賃 借 料		91,100		コピー機・印刷機 使用料
⑧新聞図書費		36,046		新聞代、書籍代
⑨保 険 料		11,500		ボランティア保険
⑩諸 会 費		57,846		商工会議所、まちづくり協会
⑪慶 弔 費		35,580		お見舞
⑫租税 公課		454,200		消費税、収入印紙
⑬支払手数料		3,154		振込み手数料
⑭雑 費		38,501		
小 計	<b>3,288,000</b>	<b>3,808,671</b>	<b>△ 520,671</b>	

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
①環境整備	10,000	59,398	△ 49,398	修繕費
小 計	10,000	59,398	△ 49,398	
管理費合計	3,298,000	3,868,069	△ 570,069	

## [3]予備費

科 目	予 算	決 算	差 異	
予備費	130,000	0	130,000	

Ⅲ. 経常支出合計	予 算	決 算	差 異	
	18,555,000	18,881,039	△ 326,039	

Ⅳ. 経常収支差	予 算	決 算	差 異	
	145,120	△ 245,512	390,632	

	決 算	
V. 当期正味財産増減	△ 245,512	
Ⅵ. 前期繰越正味財産	1,437,355	
Ⅶ. 正味財産合計(消費税込)	1,191,843	消費税(350,800円)

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

## 平成 28 年度 活動計算書

2016/4/1 ~ 2017/3/31

(単位：円)

<b>【経常収益】</b>		
<b>【受取会費】</b>		
正会員受取会費	189,000	
賛助会員受取会費	51,000	
情報会員受取会費	0	240,000
<hr/>		
<b>【受取寄付金】</b>		
受取寄付金	1,432,495	1,432,495
<hr/>		
<b>【受取助成金等】</b>		
受取助成金	1,526,000	1,526,000
<hr/>		
<b>【事業収益】</b>		
事業 収益	2,567,954	
受託事業収益	12,864,057	15,432,011
<hr/>		
<b>【その他収益】</b>		
受取 利息	121	
雑 収 益	4,900	5,021
<hr/>		
<b>経 常 収 益 計</b>		<b>18,635,527</b>
<hr/>		
<b>【経常費用】</b>		
<b>【事業費】</b>		
<b>(人件費)</b>		
給料 手当	2,432,520	
法定福利費	255,309	2,687,829
<hr/>		
<b>(その他経費)</b>		
諸 謝 金	5,674,960	
印刷製本費	7,500	
旅費交通費	626,048	
郵 送 費	167,113	
通 信 費	64,870	
消耗品 費	1,340,950	
教 材 費	1,799,721	
水道光熱費	6,541	
新聞図書費	28,200	
地代 家賃	495,000	
賃 借 料	487,122	
広告宣伝費	8,100	
保 険 料	52,395	
諸 会 費	56,000	
支払手数料	3,478	
雑 費	133,600	
仕 入 れ	437,497	
雑役務費	936,046	12,325,141
<hr/>		
<b>事 業 費 計</b>		<b>15,012,970</b>

<b>【管理費】</b>		
(人件費)		
給料 手当	2,432,120	2,432,120
(その他経費)		
旅費交通費	104,580	
郵送費	22,257	
通信費	60,504	
消耗品費	416,456	
修繕費	59,398	
水道光熱費	44,827	
賃借料	91,100	
新聞図書費	36,046	
保険料	11,500	
諸会費	57,846	
慶弔費	35,580	
租税公課	454,200	
支払手数料	3,154	
雑費	38,501	1,435,949
<b>管理費計</b>		<b>3,868,069</b>
<b>経常費用計</b>		<b>18,881,039</b>
当期正味財産増減額		△ 245,512
前期繰越正味財産額		1,437,355
次期繰越正味財産額		1,191,843

## 平成 28 年度 貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日 現在

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		預り金	62,347
現金	301,474		
普通預金	123,566		
定期預金	701,390	流動負債計	62,347
現金・預金計	1,126,430		
(売上債権)			
未収金	126,000	<b>負債合計</b>	<b>62,347</b>
売上債権計	126,000	<b>正味財産の部</b>	
(その他流動資産)		<b>【正味財産】</b>	
前払費用	1,760	前期繰越正味財産額	1,437,355
その他流動資産計	1,760	当期正味財産増減額	△ 245,512
流動資産合計	1,254,190	<b>正味財産合計</b>	<b>1,191,843</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,254,190</b>	<b>負債・正味財産合計</b>	<b>1,254,190</b>

# 平成 28 年度 財産目録

平成 28 年 3 月 31 日 現在

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

(単位：円)

《資産の部》	
【流動資産】	
現金	301,474
普通預金 [十六銀行]	123,566
定期預金 [十六銀行]	701,390
未収金	126,000
前払費用	1,760
資 産 合 計	1,254,190
《負債の部》	
【流動負債】	
預り金	
源泉所得税 (給与)	15,397
源泉所得税 (報酬)	17,206
雇用保険	8,631
健康保険料	7,477
厚生年金保険料	13,636
流動負債 計	62,347
負 債 合 計	62,347
正 味 財 産	1,191,843

# 〔 X 〕 平成 2 8 年度監査報告

## 監査報告書

平成 28 年度特定非営利活動法人犬山市民活動支援センターの会の決算について、平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日までの事業内容について、厳正に監査を行った結果、その内容は的確に且つ正確に処理されていました。

又事業の運営についても良好であると認められたので報告します。

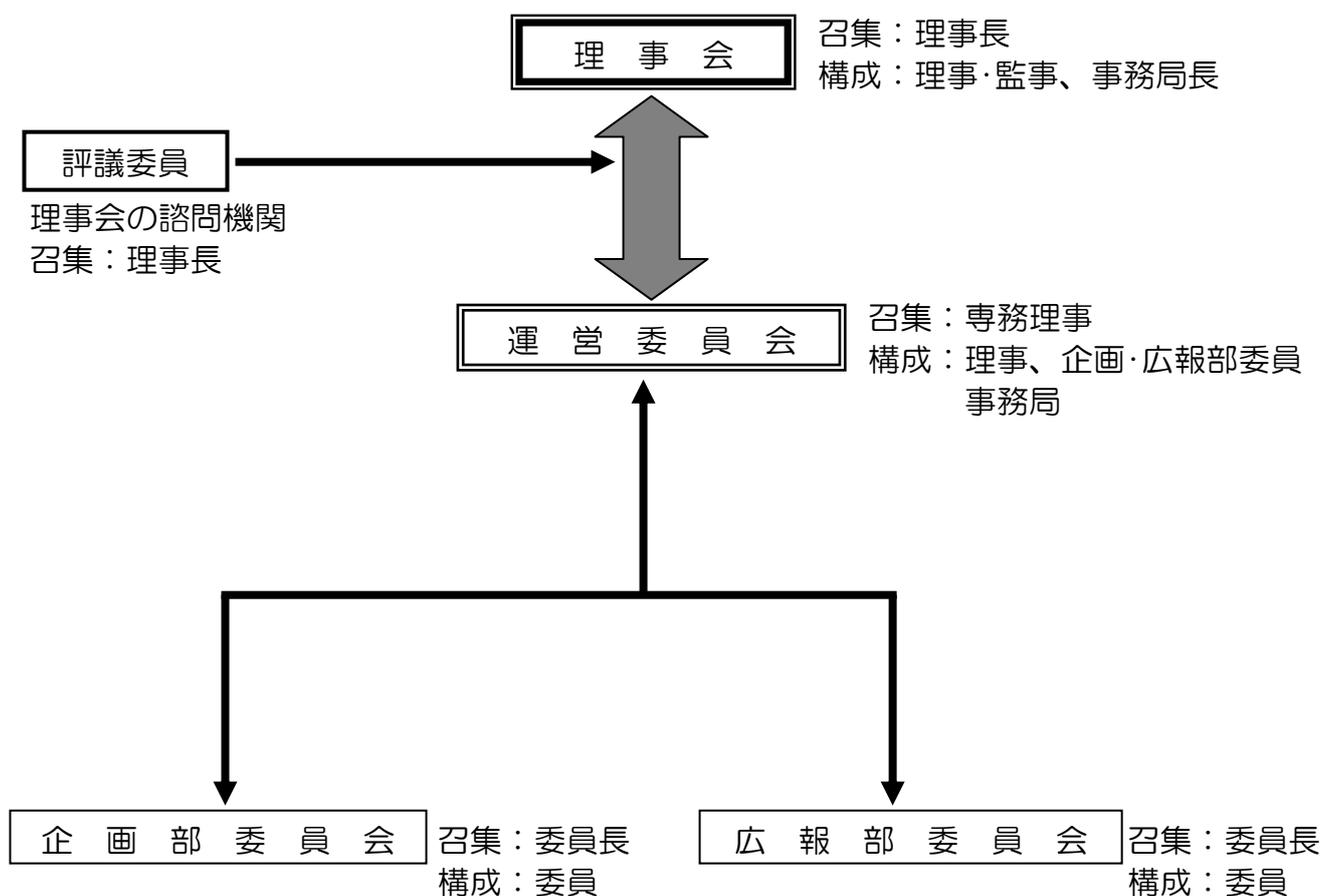
平成 29 年 月 日

特定非営利活動法人  
犬山市民活動支援センターの会  
理事長 川島 紀之 殿

監事

# [XI] 犬山しみんていの会 運営体制

特定非営利活動法人  
犬山市民活動支援センターの会



運営委員会は、オープンにしています。  
理事以外の会員も自由に参加できます。

積極的に参加いただき建設的なご意見をお待ちしています。